

## 第6回 日中韓物流大臣会合共同声明

中国 杭州

2016年7月28日

1. 我々、中国、日本、韓国の物流担当大臣は2016年7月28日、中国杭州にて第6回物流大臣会合を開催した。我々は、この協力の枠組の10周年を祝福し、過去5回の物流大臣会合で設定した12の行動計画の下での進捗を称賛し、そしてこれからの更なる具体的な協力と成果を促した。
2. 我々は、北東アジアが世界経済活動の中心の一つであることを認識した。2015年の3カ国のGDP総額は世界経済の約20%を占め、また、世界貿易総額に対して3カ国が生み出した貿易総額は約6,193.5兆米ドルに達し、世界貿易総額に対し18.7%を占める。中国、日本、韓国は、アジア繁栄の3本柱であり、そして世界の経済成長の重要な礎石として考えられるようになってきた。
3. 我々は、輸送が国民経済および外国貿易の基本的かつ先駆的な役割を果たすこと、そして、効率的で、環境に優しい、安全な物流ネットワークの発展を強化するために運輸及び物流分野で3カ国の実質的な協力を更に深化・拡大することが必要不可欠であり、以て北東アジアでのより円滑かつ大きな貿易を促進することができることを認識した。
4. 我々が物流協力の3大目標と定義している、「シームレス物流システムの実現」、「環境にやさしい物流の構築」及び「物流の安全性と効率性の両立の実現」は、昨年11月にソウルで開催された第6回日中韓首脳会談において、三カ国の首脳から強く認知され評価された。この3つの目標のもとで12の行動計画も同様に策定され、これまで実行されてきている。喜ばしいこと

に、3カ国の一致した努力により、我々はこれまでの10年間、著しい成果をあげてきた。我々は、別添の「行動計画の進捗状況及び今後の作業」を確認し、継続的な協力について以下の合意に達した。

#### 4.1 シームレスな物流システムの実現

シャーンシの相互通行は陸上輸送と海上輸送を連結し、物流の効率化やスピードを向上させるにあたって重要な役割を果たすものである。このため3カ国は将来的に3カ国間のシャーンシの海陸一貫輸送を実現するために努力する。この目的のために、我々はシャーンシの相互通行について漸進的に以下の取組を行っていく。中国と韓国は、以前締結された合意事項に基づきシャーンシの相互通行の取組を促進するため努力する。日本と韓国は荷主と物流企業のニーズを考慮し、既存のパイロットプロジェクトを拡大していく。中国と日本は相互通行のパイロットプロジェクトの実施に向けて、引き続きより密接に相互に協力する。

我々は、継続的に NEAL-NET 物流情報共有サービスの改善と促進を進め、情報共有できる港の数を増やし、情報共有の範囲の拡大について検討し、北東アジアにおける NEAL-NET の普及促進活動を行い、国境を越えた複合一貫輸送に係る共同研究を開始し、そして着実に国際的な交流と協力を進めていく。

我々は、低廉なコストと環境にやさしい物流システムの構築を実現するために継続的に努力する。我々は、3カ国の共同研究の結果について情報を共有するとともに3カ国のリターナブルパレット促進について共同で努力する。

我々は、北東アジアにおけるシームレス物流システムの実現に資するため、引き続き標準化されたパレットの普及促進に努めるとともに、その為の協

力を継続する。また、我々は、パレットの国家規格化に向けて努力するとともに、パレット以外の通い容器（※）の標準化の可能性に係る研究を促進する。

（※）貨物の運送のために反復して使用可能な容器

我々は、陸海間の輸送手段についての情報と経験を共有し、共通理解を深化し、3カ国間の陸海間の輸送手段の潜在的な需要について検討し、陸海間の輸送手段についての機会と課題について認識する。

この地域における新鮮食品の物流並びに農業食品及び海鮮食品の貿易が成長していることを踏まえ、我々は食品の安全を確保し、食料廃棄を防ぐため、円滑に流れるコールドチェーンの必要性について認識する。この目的のために、我々は公的セクター及び民間セクターが協力プロジェクトを模索し、共同研究を実施するのを促進する。

#### 4.2 環境にやさしい物流の構築

我々は環境にやさしい物流の構築の方法を模索している。また、我々は、地球温暖化及び大気汚染は地球規模の共通課題であると認識している。消費者の環境意識の高まりに応じて、日中韓3カ国では、環境にやさしい物流サービスに対する需要が高まっている。このことに関連して、我々は、日中韓物流大臣会合の下で進めている様々なプロジェクトが、環境にやさしい物流システムの構築に関して重要な意味を有していると認識している。我々は、こうした環境にやさしい物流に関係するプロジェクトを推進するために、我々の協力を強化するとともに、官民連携を進めていく。

#### 4.3 安全かつ効率的な物流の両立

我々は、物流セキュリティの分野における人的資源の効果的な育成を含め、国際物流のセキュリティに係る環境変化に団結して対応するため、日中韓

3カ国における現行の物流セキュリティ関係教育に関する情報交換を促進する。

我々は、物流のセキュリティと効率化の向上のための技術につき、日中韓3カ国の研究機関、企業による研究の協力及び促進に努力する。

#### 4.4 その他関係分野

我々は、第17回北東アジア港湾局長級会議及び港湾シンポジウムが2016年11月に仁川にて開催予定であることを踏まえ、「日中韓における港湾法制度の比較研究」、「北東アジアにおける港のにぎわいづくり」、「コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の研究」について確認された協力を促進する。

我々は、将来的な代替航路として北極海航路の重要性を認識している。北極海航路の利用をより促進するため、引き続き3カ国の政府、研究機関、および企業は情報共有や相互協力を努める。

我々3カ国は、3PLビジネスを促進するための状況を創り出すための協力に向けてよりいっそう努力する。加えて、我々3カ国は、引き続き各国での3PLビジネスの促進のための努力に関する情報の交換を行う。

### 5. 今後の協力のための新たな取組

- 5.1 我々は、12の行動計画の進展について歓迎した。我々は、これからの10年の協力の中で、より大きな成果を期待する。また、我々は、今までの行動計画の進捗状況を見直し、改善するための方策を検討する。この取組を行うことにより、我々は、効率的に行動計画を進め、継続的に新しい議題を抽出し、物流分野での協力を更に拡大する。

日中韓物流大臣会合は、3カ国間の物流分野における唯一の諮問機関として、2006年に第1回大臣会合が開催されて以来、成功をおさめてきた。中国、日本、韓国の三国間の物流協力が更に強化されるよう、大臣会合の効率的な運営及び管理方法について我々は共同で検討し、第7回大臣会合で発表する。

- 5.2 我々は近年、3カ国がそれぞれの主要な取組、すなわち中国は「一帯一路」、日本は「質の高いインフラパートナーシップ」、韓国は「ユーラシアイニシアティブ」を前進させてきたのを目の当たりにした。我々は、これらの取組を実施する際に、相互の対話や協力を強化するよう努力し、将来的には、これらの取組の下で協力プロジェクトや活動を開始する可能性を模索する。
- 5.3 我々は、多国籍企業や国際機関が、地域の輸送と物流の発展を促進するため、3カ国にとって重要なプラットフォームとして貢献していることを認識した。我々は、この3カ国が我々の共通の利益に資する目的の下で、より緊密に協力し、国際海事機構（IMO）、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNSCAP）、アジア太平洋経済協力（APEC）等の地域的・世界的な枠組の下、より積極的な役割を果たすべきとの見解を共有した。
- 5.4 我々は、喜ばしいことにこの3カ国がアジア太平洋地域における物流の発展に共同で貢献するのを目の当たりにすることができた。我々は、3カ国が更に努力し、NEAL-NETがこの地域でより大きな役割を果たすこと、3カ国の物流情報の協力が船舶から道路、鉄道、国内航空など様々な輸送モードに拡大していくこと、また3カ国相互間並びに、UNSCAP及びAPEC等の国際的枠組との協力を更に強化し、NEAL-NETの利用をASEAN、アジア太平洋地域、EU等へ共に推進していくことを期待する。

6. 我々は、第6回日中韓物流大臣会合への日中韓三国協力事務局（TCS）の参加を歓迎するとともに、3カ国の物流協力の促進のために TCS と密に協働していく。
7. 我々は、規範に従い第7回日中韓物流大臣会合を韓国で2018年に開催することを決定した。
8. 我々は、中国側の大臣と浙江省に、会合に係る暖かいもてなしと素晴らしい準備に対する感謝の意を表した。

別添：2016年版行動計画の進捗状況及び今後の計画

中華人民共和国交通運輸部を代表して

日本国国土交通省を代表して

大韓民国海洋水産部を代表して